

経営比較分析表

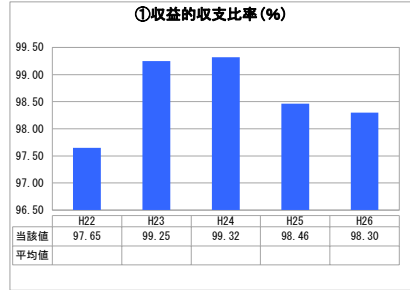
岐阜県 恵那市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	33.15	60.89

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,052	504.24	105.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
17,438	5.96	2,925.84

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



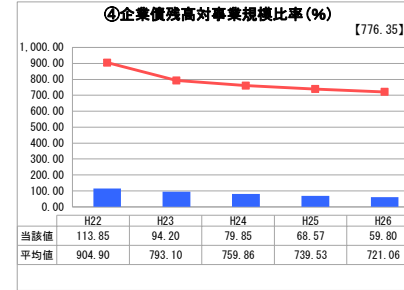
「単年度の収支」



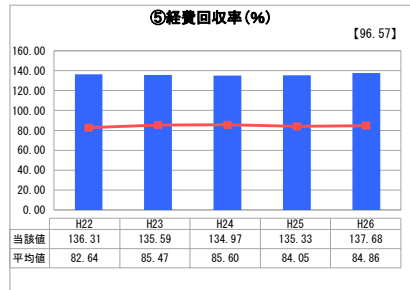
「累積欠損」



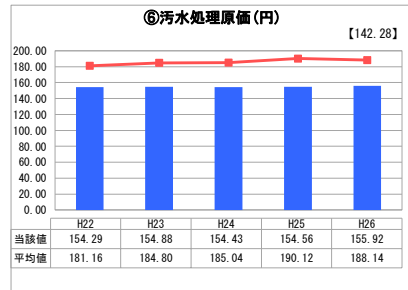
「支払能力」



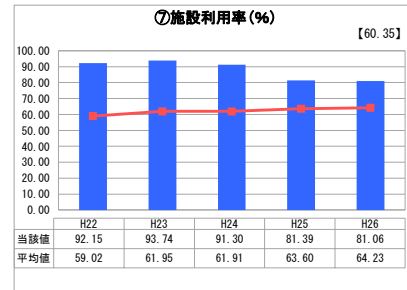
「債務残高」



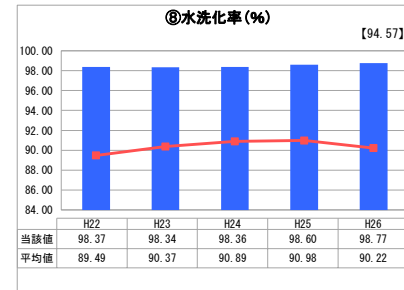
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

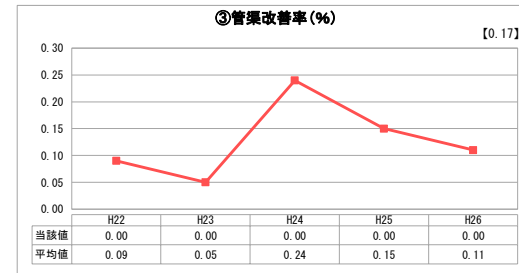
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化的状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率(%)
97%後半から99%前半を推移している。下落傾向なのは、地方債償還金が増額してきているため、収益確保や経費削減等、経営安定化に向けての検討をする必要がある。

④企業債残高対事業規模比率(%)
H22年度から下落傾向である。今後、見込まれる、処理場や管渠の老朽化による更新等、地方債の借入には、投資規模・収益の適正を検討する必要がある。

⑤経費回収率(%)
100%以上で、類似団体平均を上回っている。今後も、現状を維持できるよう、また、一般会計の繰出金の負担を軽減するよう安定した経営を行う。

⑥汚水処理原価(%)
類似団体平均値より低く、H22年度からほぼ横ばいである。

⑦施設利用率(%)
類似団体平均値より高いが、人口減少等、水需要の減少により、H23年度から下落傾向である。

⑧水洗化率(%)
H23年度から上昇傾向で、類似団体平均を上回っている。

以上から、経営の健全性・効率性は、類似団体平均値より比較的高く、安定している。また、一般会計の繰出金の負担を軽減するよう、収益確保や経費削減等、経営安定化に向けての検討をする必要がある。
なお、管渠の老朽化の影響等により、有収率が約60%であり、不明水対策のため、管渠の改築等の必要性を把握し、計画的な更新を検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始がS54年度であり、処理場に関しては、長寿命化計画を策定し、改築・更新等推進している。管渠に関しては、処理場と同様に、改築等の必要性を的確に把握し、計画的な更新を検討する必要がある。

全体総括

経営状況は、安定しているが、市の人口は、近年減少傾向が続いており、また、節水型設備の普及により、処理水量は減少傾向であるため、施設利用率等、課題となっている。
管渠の更新は、管渠の改築等の必要性を把握し、計画的な更新を検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。